# 1-1 (一社) 佐賀県水泳連盟 (競泳)

項目		内容
選考	方法	当該年度の「佐賀県選手権水泳競技大会」で行う。
湿土	基準	個人種目は、日本水泳連盟が定める標準タイム
医气	<b>荃</b> 华	リレー種目は、佐賀国体を見据えて出場を目指す。
		個人・リレー共に、
		佐賀県選手権水泳競技大会出場種目から、
選考の	の内容	当該年度4月1日~7月中の長水路タイムが、
		日本水泳連盟が定める標準タイムを突破している一番速い者を選出する。リレーは別途考
		慮する。
問合せ先	名称	(一社) 佐賀県水泳連盟 競泳委員長
	担当者名	沖田 祥章

# 1-2 (一社) 佐賀県水泳連盟(水球)

項目	内容
選考方法	一次選考:少年男子12名、女子3名を強化指定候補選手として、水球強化担当部会にて選出。 出。 二次選考:少年男子12名、女子3名を国体候補選手として、水球強化担当部会にて選出。 最終選考:鹿児島国体候補選手について、少年男子12名、女子3名を(一社)佐賀県水泳連盟にて選出
選考基準	練習会への取り組みを基本に泳力や戦術理解力及び、練習試合等で応用力等を見極めて国
	体候補選手を選出した。
	一次選考:1月から2月にかけて実施した合同練習会にて選考
選考の内容	二次選考:3月から4月にかけて実施した合同練習会にて選考
	最終選考:二次選考までの結果をもとに(一社)佐賀県水泳連盟にて選考
その他	選考対象選手は、当該年度(公財)日本水泳連盟に選手登録が完了した者であること。
名称 問合せ先	(一社) 佐賀県水泳連盟 水球担当
	濱野 文一

# 1-3 (一社) 佐賀県水泳連盟 (アーティスティックスイミング)

項目		内容
選考方法		ASを競技として取り組んでいる者で九州ブロックを突破の可能性のある者
選考	基準	本国体に参加を期待できる選手、九州ブロックで上位を狙うことができる選手
選考の	の内容	競技人口が少ないためにまずは、ASをしっかりと取り組めている選手
問合せ先	名称	(一社) 佐賀県水泳連盟 AS担当
IIII E Z	担当者名	阿世賀 紀光

# 1-4 (一社) 佐賀県水泳連盟(飛込)

項	目	内容
		飛込は、各都道府県水泳連盟(協会)が次の当該年度競技会において、(公財)日本水泳連
		盟の定める標準点を突破した者を代表選手として選考し、(公財)日本水泳連盟に予備エン
選考	方法	トリーをすることができる。また、予備エントリーをした都道府県には1名の出場枠を与
		える。予備エントリー完了後、(公財)日本水泳連盟が各都道府県の予備エントリーを集計
		し、本大会出場人数を決定する。
選考	·基準	国体予備エントリーの結果をもとに、達成率の高い選手を選考する。
選考の内容		各都道府県水泳連盟(協会)が次の当該年度競技会において、(公財)日本水泳連盟の定める標準点を突破した者を代表選手として選考し、(公財)日本水泳連盟に予備エントリーをする。 1)成年の部対象競技会 ① 関東選手権 ② 関西選手権 2)少年の部対象競技会 ① 地域高等学校選手権 ② 全国JOCジュニアオリンピックカップ地域別予選会 予備エントリー完了後、(公財)日本水泳連盟が各都道府県の予備エントリーを集計し、本大会出場選手数を8月4日(金)までに決定し、各加盟団体へ通知する。
問合せ先	名称	(一社) 佐賀県水泳連盟 飛込担当
ᄞᇚᆸᄰᄍ	担当者名	原口 進也

# 2 佐賀県ボート協会

項目		内容
選考方法		一次選考:5月28日の国体選考会(ALL佐賀ボート選手権大会)で出場者をランキングする。
		最終選考:ALL佐賀ボート選手権大会前までの大会結果や体力測定の結果を鑑み、男女成年・少年各9名を国体候補選手として正式に佐賀県ボート協会より指名
译字	基準	強化練習、ALL佐賀ボート選手権大会前までの成績等、総合的に勘案し、本国体及び九州
医 5	<b>坐</b> 年	ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考
		①ALL佐賀ボート選手権大会で水上パフォーマンス及びタイム測定
選孝(	の内容	②ALL佐賀ボート選手権大会前の大会での結果を参考とする。
医行》	71.14	③ALL佐賀ボート選手権大会までに行われたエルゴ測定(日本ローイング協会主催の通信
		エルゴ等も含む)での体力レベルを参考とする。
		参加者は佐賀県ボート協会の会員又はふるさと制度を使って佐賀県選手として国体に出場
その他		することができる者。
		また、当該年度の選手登録を完了している者。
問合せ先	名称	佐賀県ボート協会 強化部
ᄪᆸᄰᄍ	担当者名	宮谷 康裕

# 3 (NPO法人) 佐賀県ヨット連盟

項目		内容
		成年 一次選考:男女各相当数を選手強化部より指名
湿之	方法	最終選考:当該国体に男女4名をNPO法人佐賀県県ヨット連盟より指名
医气	刀压	少年 一次選考:男女各相当数を強化選手として選手強化部より指名
		最終選考:当該国体に男女各3名をNPO法人佐賀県ヨット連盟より指名
湿土	基準	強化練習、全九州規模以上の大会成績等、総合的に勘案し、本国体で上位入賞を期待出来
医方	<b>荃</b> 华	る選手且つ、強い意志を持って大会に挑む選手を選考
		一次選考:4月出場意志・強化活動内容の承諾及び6月末までの大会成績を基に選考
· 显 <del>文</del> (	の内容	最終選考:7月から8月までの期間に強化練習会及び予選会を実施して選考
医50	り内谷	大会成績のポイント及び全日本規模大会での上位入賞者ポイントについては、各大会以前
		に該当者へ周知する。
その他		参加者は、日本セーリング連盟及びNPO法人佐賀県ヨット連盟の会員登録を行っているこ
	7 IB	٤.
問合せ先	名称	NPO法人佐賀県ヨット連盟 選手強化部
	担当者名	中山 英弘

#### 4 (一財) 佐賀陸上競技協会

項目		内容
		・県記録会、県陸上競技選手権、国体選考会での3大会より、各種目男女2名程度を強化
選考		選手とし強化部より指名する。
医	刀压	・九州大会、全国大会等の実績を考慮し強化選手とし強化部より指名する
		・鹿児島国体で設定されている種目から29名を選出し強化部より指名する
<u>`</u> ₽₽ <del> </del> <b>/</b>	·基準	強化練習、県記録会、県陸上選手権、国体選考会の大会成績等、総合的に勘案し、本国体
医	<b>荃</b> 华	及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考
		一次選考:県記録会(4/22-23)、県陸上選手権大会(5/13-14)及び
湿土(	の内容	選考会の内容を基に選考
医气 医气 0	の内台	二次選考:国体選考会(7/1)の内容を基に選考
		最終選考:一次・二次選考と九州大会以上の実績を考慮し選考
その他		佐賀陸上競技協会の会員であること。
問合せ先	名称	(一財) 佐賀陸上競技協会
同日で元	担当者名	丸小野 仁之

項目	・ 内 容
	○谷委員会等からの推薦
選考方法	①少年男子チームの選考:基盤として佐賀県独自で取り組んでいる「トレセン制度(U11~U16まで段階的な選抜選手による強化練習会)」を経てきたU15選抜選手及び佐賀県へ転入してきた有望選手を4月から月2回のトレセンを実施し、国体スタッフ5名(監督、ヘッドコーチ、コーチ、GKコーチ、主務)が推薦する。 ②少年女子チームの選考:基盤として佐賀県独自で取り組んでいる「トレセン制度(U11~U16まで段階的な選抜選手による強化練習会)」を経てきたU15選抜選手及び佐賀県へ転入してきた有望選手並びに県内クラブに新たに加入した有望選手を、4月から月1~2回のトレセンを実施し、国体スタッフ5名(監督、ヘッドコーチ、コーチ、GKコーチ、主務)が推薦する。 ③成年男子チームの選考:4月~7月にかけて3回の選考会を実施し、国体スタッフ5名(同上)が推薦する。
	④成年女子チームの選考:4月~7月にかけて3回の選考会を実施し、ふるさと選手と活動可能な選手の状況も踏まえ、国体スタッフ5名(同上)が推薦する。  ○選考決定
	技術委員会(委員長、副委員長、国体スタッフ各5名ずつ)を開催し上記①~④からの推薦者について、協議・選定して、サッカー協会会長へ推薦する。 サッカー協会会長が(常務理事会を開催し)最終的に承認し認定する
	・選考の基準とするチェックシート(4段階評価、A監督の目標とするチーム戦術理解度、B技術、C
\记土\ ++ `#	体力、D個人戦術、Eサッカーの理解度)を選考スタッフが選手個別に評価する。
選考基準	・県大会、選考会、U16九州トレセン大会(少年男子)の成績等、総合的に勘案し、本国体及び九
	州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考
選考の内容	国体スタッフか考えるケームモナルを念頭に、個々の特徴を勘案し、国体スタッフ全員で選定している。 ①少年男子 一次選考:4月中旬選考会、4月下旬のU16九州トレセン大会内容を基に選考 二次選考:5月から6月までの期間に強化練習会を複数回実施 最終選考:7月から8月にかけて強化合宿遠征を含めた練習会を複数回実施 ②少年女子 一次選考:4月中旬選考会、4月下旬のU16九州トレセン大会内容を基に選考 二次選考:5月から6月までの期間に強化練習会を複数回実施 最終選考:7月から8月にかけて県内強化合宿や強化遠征を含めた練習会を複数回実施 ③成年男子 一次選考:九州リーグ、県内リーグ、大学リーグの担当者から候補選手を推薦してもらい6月上旬に一次選考会 二次選考:6月中旬から週1~2回のペースで強化練習会を実施 最終選考:7月から8月にかけて強化遠征を含めた練習会を複数回実施 ④成年女子 一次選考:ふるさと選手を考慮に入れながら女子委員会で候補選手を選出
	二次選考:6月中旬から週1~2回のペースで強化練習会を実施   最終選考:7月から8月にかけて強化遠征を含めた練習会を複数回実施
	・選考チェックシートを活用 (4 段階評価)
その他	選考時に「A監督の目標とするチーム戦術理解度」、「B技術」、「C体力」、「D個人戦術」、「E サッカーの理解度」「F個人の特徴」の6つの項目でのチェックシート

問合せ先	名称	(一社)佐賀県サッカー協会事務局
	担当者名	中西 順也

# 6 佐賀県テニス協会

項目		内容
		成年:一次選考、二次選考により代表選手を決定
選考	方法	少年:県高校総体シングルスベスト8の選手と、協会推薦の中学校3年生を加えた選考会
		により代表選手を決定
選考	基準	選考会の結果による
<u>`₹</u>	の内容	選考会にエントリーした選手により、リーグ戦またはトーナメントを行い、男女各2名の
医气 医气 0	の内台	代表選手と、補欠選手を選考する。
70	の他	佐賀県テニス協会登録者、佐賀県在住または在学(勤務)者、ふるさと選手
問合せ先	名称	佐賀県テニス協会
ᄪᆸᄰᇨ	担当者名	島信隆

# 7 佐賀県ホッケー協会

項目		内容
		少年男女
<u> </u>	方法	監督・コーチが強化選手選出を行いヘッドコーチの承認後決定
医 医 方	刀压	成年男女
		監督・コーチ・キャプテンが強化選手選出を行いヘッドコーチの承認後決定
		少年成年男女
選考	基準	強化練習、各種の大会での活躍等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位
		入賞を期待できる選手を選考
選考0	の内容	4月から7月までの期間、強化練習活動の内容を基に選考
20	DШ	参加者は佐賀県ホッケー協会の会員、またはふるさと選手であること。
その他		また、日本ホッケー協会登録費を完納していること。
問合せ先	名称	佐賀県ホッケー協会事務局
	担当者名	事務局長:川原 邦弘

# 8 佐賀県ボクシング連盟

項目	内容
選考方法	1次選考:少年・成年男子の強化指定選手を選考する
医专力法	2次選考:本年度国体強化選手として少年・成年男子16名・成年女子2名を選考する
	少年の部は佐賀県総体・全九州総体の成績内容や県外練習試合等を
   選考基準	参考に、また他県の選手エントリー状況を予想し、ベストメンバーを選考していく
进 5 基 年 	成年の部は大学リーグ戦の成績や、日頃の練習活動状況を見て、
	エントリー前に選考会を開き選考する
選考の内容	上記選考基準のもとにスパーリング選考会をおこなう
その他	選手登録は必須事項である

問合せ先	名称	佐賀県ボクシング連盟事務局
	担当者名	前田真一

#### 9 佐賀県バレーボール協会

項目		内容
選考方法		一次選考:強化選手を選考母体として、強化対策委員会より指名
		二次選考:一次選考を国体候補選手原案として強化委員会より指名
进 5	刀広	最終選考:九州ブロック国体ならびに栃木国体選手男女各12名を佐賀県
		バレーボール協会常任理事会にて承認
選考	基準	協会内「*SAGA2024国スポ選手等選考基準」にて選考 *:別紙参照
		一次選考:関係する下記の大会成績等の内容を基に選考
		最終選考:6月から7月までの期間に強化練習会を実施し選考
選考6	の内容	記
		○強化練習会および○国体予選会 ○高校新人大会 ○全九州総合選手権大会佐賀県予選会 ○高校総
		合体育大会 〇全日本高等学校選手権大会(春高バレー) 〇天皇杯・皇后杯県ラウンド
7.0	D他	参加資格は,(公財)日本バレーボール協会2022年度MRS登録済みの
C 07   E		佐賀県在住者及び、県内高校生、ふるさと選手
問合せ先	名称	佐賀県バレーボール協会
	担当者名	池上 寿伸

#### 国民スポーツ大会バレーボール競技代表選手・監督選考に関する申合せ

国民スポーツ大会において上位入賞を目指す為に、次の選考基準を設ける。

佐賀県バレーボール協会

#### 1 選手選考について

- (1)少年男女の部
  - ①チーム構成は、原則として県内高校生から選抜された選手とする。
  - ②候補選手の選考は、下記の大会を基準として佐賀県バレーボール協会国民スポーツ大会強化対策委員会(以下、国スポ対策委員会)及び佐賀県バレーボール協会強化委員会(以下、強化委員会)が総合的に判断して選出する。
    - 〇新人大会 〇全九州総合選手権大会佐賀県予選会 〇佐賀県高校総合体育大会
    - 〇全日本高等学校選手権大会(春高バレー)佐賀県大会
  - ③候補選手は、佐賀県バレーボール協会常任理事会(以下、常任理事会)に諮り、常任理事会で審議して 最終決定する。
  - ④選手に欠員が出た場合は、強化委員会が審議選出し国スポ対策委員会に諮る。国スポ対策委員会は、これについて協議決定し常任理事会に報告する。
- (2)成年男子の部
  - ①チーム構成は、佐賀県在住者の中から選抜した者及びふるさと選手とする。
- (3)成年女子の部
  - ①チーム構成は、久光スプリングスに一任する。
- (4)ビーチバレーボールの部
  - ①候補選手については、県内高校生とする。
  - ②候補選手は、下記の選考を以って、国スポ対策委員会及び強化委員会)が総合的な判断により選出する。

- ②一次選考:候補選手選考会を基に候補選手を10名程度選出する。
- ⑥二次選考:候補選手に対して合同練習会を実施して、その活動内容を基に候補チーム(選手2名)を 選出する。
- ③候補チーム(選手2名)は、常任理事会に諮り、常任理事会で審議し最終決定する。
- ④候補選手に欠員が出た場合は、強化委員会が審議選出し国スポ対策委員会に諮る。国スポ対策委員会は、これについて協議決定し常任理事会に報告する。

#### (5)中学生の部(JOC 選抜)

- ① 候補選手の選考は、下記の大会を基準として各地区の強化担当の指導者と佐賀県バレーボール協会中学校部会強化委員会が身体能力、将来性等を考慮し、総合的に判断して選出する。
  - 〇新人大会(11月) 〇選抜優勝大会県予選会(2月)
  - 〇県選手権大会(4月) 〇県総合体育大会(7月)
- ② 各大会の実施後に、それぞれの地区で実施される強化練習会やリーグ戦を候補選手選考の参考にする。
- ③ 本人、保護者の了承を得られ、かつバレーボールに対して意欲があること。
- ④ 候補選手は、県協会中学校部会常任理事会において中学校部会強化委員会が報告する。
- ⑤ ④の後,候補選手は,佐賀県バレーボール協会常任理事会(以下,常任理事会)に諮り,常任理事会で審議して最終決定する。
- ⑥ 選手に欠員が発生した場合は、中学校部会強化委員会が協議決定し、中学部会常任理事会へ 報告する。
- ⑦ ⑥の後, 佐賀県バレーボール協会国民スポーツ大会強化対策委員会(以下, 国スポ対策委員会) に諮り, 国スポ対策委員会は, これについて協議決定し常任理事会に報告する。

#### 10 佐賀県体操協会

項	目	内容
		一次選考:国体予選会により上位より指名
選考	方法	二次選考:それぞれの強化部より国体候補選手として指名
		最終選考:鹿児島国体選手を佐賀県体操協会より指名
		強化練習、国体予選会の成績等、総合的に勘案し、
選考	基準	本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待
		できる選手を選考
		一次選考:国体予選会の内容を基に選考。
□ <del>**</del> (1	の内容	(新体操5月3日、体操5月28日)
医气 (	が合	二次選考:それぞれの強化部により強化練習会を実施し選考。
		最終選考:常任理事会により選手を選考。
20	DЩ	参加者は佐賀県体操協会の会員であること。
その他		また、当該年度の協会登録費を完納していること。
問合せ先	名称	佐賀県体操協会事務局
IHJG U	担当者名	坂井 欣吾

#### 11 (一社) 佐賀県バスケットボール協会

頂目 内容  【成年】  1次選考: 春季一般大会・強化練習会にて強化選手を選考  2次選考: 強化練習会・強化合宿においてエントリー選手を強化委員会において指名・県協会理事会にて承認後に決定  【少年】 第一次選考 令和5年6月3日(土)13:30~19:30 15名程度 第二次選考 一次選考後、強化練習会、強化試合、強化遠征等でエントリー選手及び予備登録選手を決定  【成年男子】 ・週2~3回の強化練習会への参加 ・選手個人の意欲、積極的な強化練習会や強化合宿への参加 ・戦術面の理解とチームへの貢献度と的確な判断力を有する選手 ・技術面・身体面において国体で戦える選手かを判断する 【成年女子】 ・各種別の開催するトライアウトもしくは強化練習会への参加 ・ふるさと選手に関して、現状の所属チームにおいての実績と選手個人の意欲、		性具宗パグケケケール励云 
1次選考;春季一般大会・強化練習会にて強化選手を選考   2次選考:強化練習会・強化合宿においてエントリー選手を強化委員会において指名・県協会理事会にて承認後に決定   【少年】 第一次選考 令和5年6月3日(土)13:30~19:30 15名程度 第二次選考 一次選考後、強化練習会、強化試合、強化遠征等でエントリー選手及 び予備登録選手を決定   【成年男子】 ・週2~3回の強化練習会への参加 ・選手個人の意欲、積極的な強化練習会や強化合宿への参加 ・戦術面の理解とチームへの貢献度と的確な判断力を有する選手 ・技術面・身体面において国体で戦える選手かを判断する   【成年女子】 ・各種別の開催するトライアウトもしくは強化練習会への参加	項目	内 容
【成年男子】 ・週2~3回の強化練習会への参加 ・選手個人の意欲、積極的な強化練習会や強化合宿への参加 ・戦術面の理解とチームへの貢献度と的確な判断力を有する選手 ・技術面・身体面において国体で戦える選手かを判断する 【成年女子】 ・各種別の開催するトライアウトもしくは強化練習会への参加	選考方法	1次選考;春季一般大会・強化練習会にて強化選手を選考 2次選考:強化練習会・強化合宿においてエントリー選手を強化委員会において指名・県協会理事会にて承認後に決定 【少年】 第一次選考 令和5年6月3日(土)13:30~19:30 15名程度 第二次選考 一次選考後、強化練習会、強化試合、強化遠征等でエントリー選手及
強化練習会や強化合宿などのへの参加後に選考 ・その他、随時選考の機会は可能な限り期間内に設ける	選考基準	【成年男子】 ・週2~3回の強化練習会への参加 ・選手個人の意欲、積極的な強化練習会や強化合宿への参加 ・戦術面の理解とチームへの貢献度と的確な判断力を有する選手 ・技術面・身体面において国体で戦える選手かを判断する 【成年女子】 ・各種別の開催するトライアウトもしくは強化練習会への参加 ・ふるさと選手に関して、現状の所属チームにおいての実績と選手個人の意欲、強化練習会や強化合宿などのへの参加後に選考

		【少年男子】
		2 プレースタイル ・コンタクトを好む ・1対1で戦うことを好む
		3 ファンダメンタルズ ・基本技術の実戦での実践力(フットワーク、パッシン
		グ、ドリブル、シュート力、リバウンディング)・オフェンス、ディフェンスのスペーシ
		ングの理解
選考	基準	4 運動能力・クイックネス能力・スプリント・ジャンプ力
		5 その他・特殊な能力(シュート力、リバウンド力、リーダーシップなど)
		【少年女子】
		1、意欲・関心・態度 ① 取り組む姿勢②ハッスル③コミュニケーション能力
		2、身体的能力 ①サイズ感②スピード③パワー④クイックネス⑤ストップ
		3、技術的能力 ①シュート力②パスの強さと正確さ③リバウンド④対人防御⑤プレイの巧みさ
		4、判断力 ①プレイの選択②オフボール時の動き→スペーシング(合わせ)③DFカバーリング
		【成年男子】
		・7月上旬までの強化練習会、強化試合において随時先行する。
		【成年女子】
		4/16に選考大会を実施
		1次選考:強化練習会・強化合宿を実施(15名程度)
		2次選考:5/1~7/25強化練習会・強化練習試合において最終選考
選考の	)内容	【少年男子】
2 称		体力測定、スキルテスト(ドリブル、パス、シュート)、対人技能、scrimmage等
		【少年女子】
		身体能力テスト
		2 0 mスプリント、ボックスアジリティ、 3 往復×3 ダッシュ、ロングチェストパス
		ハーフコート、1 on 1、フリースロー、リング下シュート、ジャンプシュート、
		セットシュート、3 on 3 ラリー、5 on 5
		(一社) 佐賀県バスケットボール協会
問合せ先		中村 洋介

# 12 佐賀県レスリング協会

項目		内容
		一次選考:佐賀県強化選手の中から、佐賀県国体候補選手として、強化委員会より指定。
選考	方法	二次選考:国体候補選手の中から、各大会の成績等を考慮し、強化委員会より指定。
		最終選考:国体選手成年6名、少年7名、女子2名を強化委員会より指名。
選考	基準	強化練習、各大会の成績等を総合的に勘案し、上位入賞を期待できる選手を選考。
		一次選考:過去の実績等をもとに強化委員会の協議にて選考。
選考の内容		二次選考:各大会の成績等を見て強化委員会の協議で選考。
		最終選考:県強化委員会が開催する強化練習会に参加する。
問合せ先	名称	佐賀県レスリング協会事務局
同日で元	担当者名	田代 大貴

# 13 佐賀県ウエイトリフティング協会

項目		内容
		少年男子:7月2日国体予選会、インターハイの結果を参考にする。
		成年男子:7月2日に国体予選会を行い、九州ブロック出場者を選考
選考	<del></del> :+	する。九州ブロックの結果により選考する。
医气	ЛЖ	女子:7月2日に国体予選会を行い、結果を日本協会に推薦する。
		日本協会が審査する・決定する。
		安嶋千晶は予選会免除選手。
選考	基準	選考基準表を参考に上位入賞可能性の高い選手を選考する。
選考の	)内容	協会の選考基準表を参考に選考委員会で審議して決定する。
その	n/H	参加者は佐賀県ウエイトリフティング協会の会員であること。
ا ا	기 <b>년</b>	また、当該年度の日本協会及び県協会登録費を完納していること。
問合せ先	名称	佐賀県ウエイトリフティング協会事務局
	担当者名	小川 稔

# 14 佐賀県ハンドボール協会

項目		内容
		一次選考:男女各20名を強化選手として、強化部より指名
選考	方法	二次選考:男女各15名を国体候補選手として強化部より指名
		最終選考:鹿児島国体選手男女12名を佐賀県ハンドボール協会より指名
湿土	基準	強化練習会、春季大会、高校総体の成績等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大
<b>丛</b> 为	<b>季</b> 年	会で上位入賞を期待できる選手を選考
		一次選考:春季総合、高校総体及び選考会の内容を基に選考
選考6	の内容	二次選考:11月から3月までの期間に強化練習会を2回実施
		最終選考:4月から7月までの期間に強化練習会を2回実施
20	D他	参加者は佐賀県ハンドボール協会の会員であること。
	7 IB	また、令和5年度の協会登録をされている選手。
問合せ先	名称	佐賀県ハンドボール協会事務局
	担当者名	船津 久和

# 15 佐賀県自転車競技連盟

項目		内容
選考方法		鹿児島国体選手男女12名を佐賀県自転車競技連盟より指名
<u>`</u> 252 <del>_</del> ±⁄	基準	強化練習会、各種公式大会の成績等、総合的に勘案し、本国体で上位入賞を期待できる選
選	<b>圣</b> 华	手を選考
選考の内容		11月から8月までの期間に強化練習会を数回実施
その他		日本自転車競技連盟の佐賀県登録
問合せ先	名称	佐賀県自転車競技連盟(龍谷高等学校)
пппсл	担当者名	浅井 正史

# 16 佐賀県ソフトテニス連盟

項目		内容
選考方法		強化部で国体県選考会を実施して、その後の練習会で他の選手を選考する。
選考基準		強化部で国体県選考会を実施して第1位を内定、その後の練習会で他の選手を選考する。
選考の内容		予選会実施予定         ・成年男子 (2/12(日)、6/3(土)、6/4(日))         ・成年女子 (4/9(日)、6/3(土)、6/4(日))         ・少年男女 (6/3(土),6/4(日))
70	の他	強化部で選考された選手を常任理事会に具申し、常任理事会で審議、決定する。
問合せ先	名称	佐賀県ソフトテニス連盟
	担当者名	佐伯 善春

# 17 佐賀県卓球協会

項目		内容
		令和5年7月17日(月・祝)SAGAプラザ総合体育館において、成年女子・少年男子・少年
選考	方法	女子に別れて佐賀県代表選手選考の予選会を行う。
		成年男子は、協会が推薦する者の中から、常任理事会において決定する。
選考	基準	予選会上位成績選手を県卓球協会、常任理事会に推薦する。
		常任理事会において、少年男子・少年女子は予選会上位3名を基準に審議し決定する。成
選考の	り内容	年男子は協会推薦者にて審議し決定する。成年女子は協会推薦者及び予選会成績上位者を
		審議し決定する。
その他		推薦者並びに予選会参加資格者は国民体育大会出場資格とする。
問合せ先	名称	佐賀県卓球協会
門日せん	担当者名	事務局長 江崎育郎

# 18 佐賀県軟式野球連盟

項	目	内容
		一次選考:候補選手約50名を選抜チームスタッフより推薦
選考	方法	二次選考:20名を国体候補選手として強化部より指名
		最終選考:鹿児島国体選手16名を佐賀県軟式野球連盟より指名
湿土	基準	A級・B級大会の成績、強化練習の参加状況等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロッ
<b>丛</b> 为	<b>季</b> 年	ク大会で上位入賞を期待できる選手を選考
		一次選考:A級・B級大会及び選考会の内容を基に選考
選考0	の内容	二次選考:2月から4月までの期間に強化練習会を数回実施
		最終選考:4月に最終選考会を実施
問合せ先	名称	佐賀県軟式野球連盟
同日で元	担当者名	森脇 正弘

# 19 佐賀県相撲連盟

項目	項 目 内 容	
		【少年男子】
		6月18日(日)の最終予選にて正選手5名、補欠2名を選出する。
選考方法	法	【成年男子】
		6月18日(日)の最終予選にて正選手3名、補欠2名を選出する。
		大学生は、最高2名までの選考とする。
		【少年男子】
		総当たりリーグ戦とする。
   選考基準	淮	【成年男子】
医方型	午	総当たりリーグ戦とする。
		勝ち数の多い者から 2023 年かごしま国体正選手とする。※特例あり
		勝ち数が同点で順位を決める必要がある場合は、同点決勝を行う。
		【成年男子】特例
選考の内容		社会人及び大学生で、5月31日までの全国大会の個人戦でベスト4以上の成績を残した
		選手は、予選会を免除とし、2023 年かごしま国体の正選手とする。
		【成年男子】
		佐賀県在住の社会人及びふるさと選手
		佐賀県出身大学生
問合せ先	名称	佐賀県相撲連盟
	当者名	ヘッドコーチ 朝長伸哉

# 20 佐賀県馬術連盟

項目	内容
	県馬連指定の強化合宿・試合に参加出来るもの(日馬連B級ライセンス以上の騎馬資格を
	有すること)
   選考方法	*成年男子-MB以上クラス・セントジョージクラス
医气力压	*成年女子-MC以上クラス・セントジョージクラス。
	*少年-MD以上クラス・Jrライダー課目以上
	(人馬の組み合わせを考慮し選手・種目を決定する。)
選考基準	九州ブロック大会や本国体において使用する予定の馬匹にて、上位入賞が期待できる人馬
医方基件	を優先的にして種目の割り振りを行う。
	・各指定された種目にて完走できること。
	・国体の実施グレードを考慮し、日馬連主催の3スター以上の競技会にて完走できるこ
である。	と。
選考の内容	・馬場馬術競技に於いては、58%以上が安定して出せる事。
	・ブロック大会、本国体に使用予定の馬匹にて上位入賞が期待出来る内容の走行が出来る
	事。
その他	参加者は、佐賀県馬術連盟の会員であること。又、当該年度の登録費を完納しているこ
- C 07世	と。

問合せ先	名称	佐賀県馬術連盟事務局	
同日で元	担当者名	事務局長 今村正道	

# 21 佐賀県柔道協会

項目		内容
		一次選考:男女各階級3~4名を強化選手として強化部会より指名
選考	方法	二次選考:男女各階級2名を国体候補選手として強化部会より指名
		最終選考:鹿児島国体選手男女各階級1名を佐賀県柔道協会より指名
湿 耂	基準	強化練習会や各種大会及び国体選考会等を勘案し、本国体及び九州ブロック大会でチーム
<b>四</b>	<b>季</b> 年	として一丸となり上位入賞を期待できる選手を選考
選考の	の内容	今までの実績や国体選考会等を基に選考
20	D他	参加者は、佐賀県柔道協会の会員であること。
- C 07 (B		また、当該年度の全柔連登録が完了していこと
問合せ先	名称	佐賀県柔道協会事務局
	担当者名	宮﨑 豊

# 22 (一社)佐賀県ソフトボール協会

項目		内容
		成年男子、成年女子、少年男子、少年女子各種別とも、昨年からの各種別ごとの大会成績
選考	方法	を参考にしてそれぞれの種別ごとに技術委員長の意見を参考にチーム編成を図る。
		◎成年男子:日本男子リーグ所属のダイワアクトを中心に補強を行いブロック大会へ臨
		む。
選考	基準	◎成年女子:今年度はふるさと選手を多数起用し、ブロック大会突破を目指す。
		◎少年男子:牛津高校男子を中心に強化を図る。
		◎少年女子:佐賀女子高校を中心にチーム強化を図る。
湿 耂 ()	7. 大 空	各種別とも選手が確定したならば、チームとして強化練習、強化試合を行い競技力向上を
選考の内容		目指す。
その他		参加選手、監督ともに登録の有無は必要としない、但し、監督は指導者資格コーチ1の有
		資格者でなければならない。
問合せ先	名称	(一社)佐賀県ソフトボール協会
	担当者名	中間 義博

# 23 (一社)佐賀県フェンシング協会

項目	内容
	一次選考:各種別、各6名を強化選手として強化部より指名
選考方法	二次選考:国体選手県予選会を実施
	最終選考:強化委員会で代表選手3名を決定

	【成年男女】
	<b>■</b>
	待できる選手を選考する。
選考基準	【少年男女】
	<b>┗</b>
	州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考する。
	・原則的に、参加者全員による総当たりを行う。
	【成年男子】選手3名(監督兼選手1名)
	【ペーパー】
	【成年女子】選手3名(監督兼選手1名)
	$  \mathbf{z}   z$
	【少年男子】選手3名
	【フーガン】 巻5 3 4
選考の内容	【少年女子】選手3名
医与切内骨	【シーダ」
	・各種目得点は、下記による。
	(1位) 8点 (2位) 5点 (3位) 4点 (4位) 3点
	(5位) 2点 (6位) 1点 (6d)
	・総合得点が同点の場合、2種目でバラージュを行う。
	・1位、2位を代表選手とし、残り1名は選考会・実績を考慮し、強化委員会で選出す
	る。
その他	・参加者は「一般社団法人佐賀県フェンシング協会」の会員であること。
	また、令和5年度の協会登録費を完納していること。
名称 問合せ先	一般社団法人 佐賀県フェンシング協会 事務局
担当者	野本 尚子

# 24 佐賀県バドミントン協会

項目		内容
·亞 <del>·</del>	 ·方法	一次選考成年:男女各4~5名を強化選手として、競技力向上部より指名
医	刀压	最終選考:鹿児島国体選手男女、各3名を競技力向上部より指名
	·基準	強化練習、春季大会、高校総体の成績等を総合的に判断し、本国体及び九州ブロック大会
进	<b>奉</b> 华	で上位入賞を期待できる選手を選考
\e2 <del>_1/</del> _ /5	の内容	少年男女:春季大会(4月)、高校総体(5月末)の結果を基に選考
選考 6	の内谷	成年男女:7月に実業団との強化練習会を実施し選考
問合せ先	名称	佐賀県バドミントン協会 競技力向上部
同日で元	担当者名	森田 広貴

# 25-1 佐賀県弓道連盟(成年)

項目		内容
		一次選考:男女各10名程度を国体強化選手として、強化部より指名
選考	方法	二次選考:男女各5名程度を国体候補選手として、強化部より指名
		最終選考:鹿児島国体選手男女各3名を佐賀県弓道連盟より指名
湿 耂	·基準	強化練習及び各種大会において、射形・体配・的中を総合的に鑑み、九州ブロック大会及
世	<b>季</b> 年	び本国体で上位入賞を期待できる選手を選考
		一次選考:県連会長杯及び選考会(2回)の内容を基に選考 ニ
選考の	の内容	次選考:春季大会及び強化練習(3回)の内容を基に選考
		最終選考:5月から6月までの期間に強化練習会を5回実施
₹0	の他	参加者は佐賀県弓道連盟の会員であること
問合せ先	名称	佐賀県弓道連盟
	担当者名	岩屋 洋太郎

#### 25-2 佐賀県高等学校弓道部

項		内 容
		①記録会(2月~3月)実施
		②国体選考会を6月11日(日)に実施
選考	方法	一次選考 遠的・近的競技、及び記録会の結果を含め、男女各数名を上位から候補者を指
		定
		最終選考 少年監督より国体選手を指名
選考	基準	的中、射形、体配から、九州ブロック及び本国体で予選通過可能な選手を選考
		①記録会(2月~3月)実施
		遠的競技による記録会
選夫(	の内容	②国体選考会を6月11日(日)に実施
医气 医气 。	の内台	一次選考 遠的競技3立及び記録会の結果から男女各数名を決定、選出された数名による
		近的競技3立
		最終選考 一次選考の結果をふまえ少年監督より国体選手を指名
その他		選考対象は、県内高校生及び各地区の連盟会員高校生であり、6月11日(日)の国体選考
	ク   ib	会に参加した者とする
問合せ先	名称	佐賀県弓道連盟・佐賀県立唐津商業高等学校
刊口で九	担当者名	井手 悠

# 26 佐賀県ライフル射撃協会

項目	内容
選考方法	選考委員会(理事会で兼ねる)で選考の記録会等の資料をもとに選考する。
	成年種目は、選考記録会を実施し、その成績をもとに選考委員会において選考する。な
選考方法	お、選考記録会に参加できないものは、同時期の公式戦の成績を参考にする。
	少年種目は、公式大会や県内記録会の成績をもとに選考委員会において選考する。
選考基準	選考会等の記録をもとに、九州ブロック大会通過、本国体で入賞を期待できる選手を選考
選考の内容	5, 6月に開かれる選考記録会等の成績をもとに、選考基準にあった選手を選考する。
その他	選考対象者は佐賀県ライフル射撃協会、および日本ライフル射撃協会の今年度の会員登録
- その月間	者であること。
問合せ先	佐賀県ライフル射撃協会
担当者名	高栁 喜人

# 27 佐賀県剣道連盟

項 目 内容 (高校生)別紙のとおり (一般男子)令和5年6月5日に開催する国体予選会で候補者を選考し、その後県外遠征の際の成績をもとに選出する。 (一般女子)令和5年6月5日に開催する国体予選会で候補者を選考し、その後県外遠征及び九州ブロック大会の成績をもとに国体選手を選出する。 (高校生)別紙のとおり。 一般男女は佐賀県選考会を開催し、原則優勝した者を候補選手とする。 (高校生)別紙のとおり 1 公式戦を最重要視する。 2 県外等での試合結果を参考にする。 3 選手の適切に応じたポジションを考慮する。 1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし佐賀県剣道連盟と協議する。 2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。	項	目	内 容
選考方法 (一般男子) 令和5年6月5日に開催する国体予選会で候補者を選考し、その後県外遠征の際の成績をもとに選出する。 (一般女子) 令和5年6月5日に開催する国体予選会で候補者を選考し、その後県外遠征及び九州ブロック大会の成績をもとに国体選手を選出する。 (高校生) 別紙のとおり。 一般男女は佐賀県選考会を開催し、原則優勝した者を候補選手とする。 (高校生) 別紙のとおり 1 公式戦を最重要視する。 2 県外等での試合結果を参考にする。 3 選手の適切に応じたポジションを考慮する。 1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし佐賀県剣道連盟と協議する。 2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。			
選考方法 際の成績をもとに選出する。 (一般女子)令和5年6月5日に開催する国体予選会で候補者を選考し、その後県外遠征及び九州ブロック大会の成績をもとに国体選手を選出する。 (高校生)別紙のとおり。 一般男女は佐賀県選考会を開催し、原則優勝した者を候補選手とする。 (高校生)別紙のとおり 1 公式戦を最重要視する。 2 県外等での試合結果を参考にする。 3 選手の適切に応じたポジションを考慮する。 1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし佐賀県剣道連盟と協議する。 2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。			(高校生)別紙のとおり
(一般女子) 令和5年6月5日に開催する国体予選会で候補者を選考し、その後県外遠征及び九州ブロック大会の成績をもとに国体選手を選出する。 (高校生) 別紙のとおり。 一般男女は佐賀県選考会を開催し、原則優勝した者を候補選手とする。 (高校生) 別紙のとおり 1 公式戦を最重要視する。 2 県外等での試合結果を参考にする。 3 選手の適切に応じたポジションを考慮する。 1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし佐賀県剣道連盟と協議する。 2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。			(一般男子)令和5年6月5日に開催する国体予選会で候補者を選考し、その後県外遠征の
び九州ブロック大会の成績をもとに国体選手を選出する。 (高校生)別紙のとおり。 一般男女は佐賀県選考会を開催し、原則優勝した者を候補選手とする。 (高校生)別紙のとおり 1 公式戦を最重要視する。 2 県外等での試合結果を参考にする。 3 選手の適切に応じたポジションを考慮する。 1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし佐賀県剣道連盟と協議する。 2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。	選考	方法	際の成績をもとに選出する。
選考基準 (高校生) 別紙のとおり。			(一般女子)令和5年6月5日に開催する国体予選会で候補者を選考し、その後県外遠征及
選考基準 一般男女は佐賀県選考会を開催し、原則優勝した者を候補選手とする。 (高校生)別紙のとおり 1 公式戦を最重要視する。 2 県外等での試合結果を参考にする。 3 選手の適切に応じたポジションを考慮する。 1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし佐賀県剣道連盟と協議する。 2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。			び九州ブロック大会の成績をもとに国体選手を選出する。
一般男女は佐賀県選考会を開催し、原則優勝した者を候補選手とする。 (高校生)別紙のとおり 1 公式戦を最重要視する。 2 県外等での試合結果を参考にする。 3 選手の適切に応じたポジションを考慮する。 1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし佐賀県剣道連盟と協議する。 2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。	<b>±</b> 55′	4甘淮	(高校生)別紙のとおり。
選考の内容  1 公式戦を最重要視する。 2 県外等での試合結果を参考にする。 3 選手の適切に応じたポジションを考慮する。  1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし佐賀県剣道連盟と協議する。  その他  2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。	選代	:	一般男女は佐賀県選考会を開催し、原則優勝した者を候補選手とする。
選考の内容  2 県外等での試合結果を参考にする。 3 選手の適切に応じたポジションを考慮する。  1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし佐賀県剣道連盟と協議する。  その他  2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。			(高校生)別紙のとおり
2 県外等での試合結果を参考にする。 3 選手の適切に応じたポジションを考慮する。 1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし佐賀県剣道連盟と協議する。 2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。	\ea <del></del>	の中容	1 公式戦を最重要視する。
1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし佐賀県剣道連盟と協議する。 2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。	进	の内谷	2 県外等での試合結果を参考にする。
る。 2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。			3 選手の適切に応じたポジションを考慮する。
その他 2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。 3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。			1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし佐賀県剣道連盟と協議す
2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。   3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。	7	<i>∞</i> /114	る。
	7	0) TE	2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。
6 4 U to C AUX + 00			3 佐賀県剣道連盟審議員会を開催し選手選考については公正を期する。
温点   名称   佐貨県剣道連盟	<b>問</b>	名称	佐賀県剣道連盟
問合せ先  - 1.7	同合で九	担当者名	德永 清成

令和5年度国体選手選考方法について(高校の部)								
選考方法	ポイント制							
参考大会	県内	佐賀県高等学校新人剣道大会・全国選抜剣道大会佐賀県予選会 ・佐賀県高等学校春季剣道大会・佐賀県高等学校総合体育						
	県外	九州選抜剣道大会・全国選抜剣道大会・九州総体・全国総体						
			優勝	5 点		優勝4名	1点	
	県大会	個人	2位	4 点	団体点	2位3名	1点	
	- ボバム		3位	3点		3位2名	1点	
			ベスト8	1点				
	九州大会	個人	優勝	8点	団体点	優勝 4 名	2 点	
選考基準			2位	6 点		2位3名	2 点	
选·5 至十			3位	4, 5点		3位2名	2 点	
			ベスト8	3 点				
			優勝	15点	優勝4名 3		3 点	
	全国大会	個人	2位	12点	団体点	2位3名	3 点	
			3位	10点		3位2名	3 点	
			ベスト8	5 点				
	*県総体の得点は1.5倍にする							
選考の内容	*最終決断	は、全九州大	会までみて	判断し、関係	(高校監督と	話し合う。		
	*すべてが	ポイントで決	定というわ	けではなく、	ポジション	等を考慮して	の監督推	
その他	国体選手及び監督については、高体連推薦(原則県総体団体優勝監督)のもと剣道							

# 28 佐賀県ラグビーフットボール協会

項目	内容
	・少年は高校総体等で選考をしている。
選考方法	・成年、女子は強化委員会で選考をしている。
医专力 <i>压</i>	・ふるさと選手については強化委員会より本人への打診とチーム関係者との協議により選
	考をしている。
	・本国体及び九州ブロック大会で上位入賞が期待できる選手の選考
選考基準	・強化委員会が実施する夏の合宿及び強化練習会に参加できること。
医方基华	・成年及び女子につては、ふるさと選手の活用が必要であるが、個人及びチーム状況等を
	配慮しながら選考を行っている。
	・少年は選考会等の結果により、強化委員会で決定している。
   選考の内容	・成年及び女子等については県内選手だけでのチーム編成では厳しい状況があるので、ふ
医行の内骨	るさと選手の選考が重要であるが、所属チームの状況を把握しながらの選考となる。
	るさと医士の医考が里女であるが、川属ナームの仏儿を尤指しながりの医考となる。
その他	・選手選考の意思決定としては、強化委員会で決定し協会理事会へ報告

問合せ先	名称	佐賀県ラグビーフットボール協会
	担当者名	尾形 孝則

# 29 佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟

項	目	内容
		一次選考:4月上旬県予選会を実施
<u>`</u> 22 <del>-1</del> ∕	方法	国体参加資格選手より候補選手を男女上位2~3名を選出
进 5	刀広	種別によっては、一次選考で決定する場合もある。
		二次選考:候補選手から男女2名を連盟より指名
		強化練習、県予選会、九州ブロックジュニア選手権(リード)、ボルダリングユース大会(倉
選考	基準	吉)、その他の大会等の成績を総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞
		を期待できる選手を選考
湿土(	の内容	一次選考:県予選会及び選考会の内容を基に選考
医气 (	フド3 <del>台</del>	二次選考:4月から6月までの期間に強化練習会を5回実施
20	DИ	参加者は佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟の会員であること。
その他		また、当該年度の協会登録費を完納していること。
問合せ先	名称	佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟
пппсл	担当者名	武末 良樹

#### 30 銃剣道連盟

<u> </u>	30 机对色注画		
項目内容		内容	
		一次選考:青年男子・成年男子共に5名程度を強化選手として指名	
選考	方法	二次選考:予選大会を実施し各4名国体候補選手として指名	
		最終選考:国体選手各3名を佐賀県銃剣道連盟より指名	
`cc <del></del>	基準	強化練習、九州大会、全国大会の成績等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会	
医传	<b>圣</b> 华	で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の	り内容	全国大会及び選考会の内容を基に選考	
7.0	D (H)	予選会の順位のみの選考ではなく、各種大会の成績等を総合的に判断し選手選考の資とす	
その他		る。	
問合せ先	名称	佐賀県銃剣道連盟事務局	
ᄞᄆᄰᄍ	担当者名	河合 大地	

# 31 佐賀県スケート連盟

項目内容		内容
		佐賀県スケート連盟が指定する練習会等に参加し、県内選考会を踏まえ選考する。選考会
選考	方法	出場者が参加人員選手枠内で県内選考会が必要ないと認められる場合は、参加資格基準を
		満たしている場合に限り、本連盟で検討し決定する。
選考	主淮	国民体育大会競技要項に示される参加資格基準(年齢基準、(公財)日本スケート連盟
<b>丛</b> 写	<b>奉</b> 年	バッジテスト基準級以上)を満たしていること。
		(1) スピード・ショートトラック
選考の	の内容	本連盟が指定する練習会等に参加し、県内選考会を踏まえ選考する。
医气 (	7/14	(2)フィギュア
		本連盟が指定する練習会等に参加し、県内選考会を踏まえ選考する。
問合せ先	名称	佐賀県スケート連盟
	担当者名	松尾和子

#### 32 佐賀県クレー射撃協会 ※鹿児島大会は実施なし(隔年開催)

項目		内容
選考方法		別添「佐賀県クレー射撃協会 令和5年度代表選手選考基準」による
選考基準		別添「佐賀県クレー射撃協会 令和5年度代表選手選考基準」による
選考の	の内容	別添「佐賀県クレー射撃協会 令和5年度代表選手選考基準」による
20	の他	参加者は一般社団法人日本クレー射撃協会の会員であること。
70	<b>グ</b> 他	また、当該年度の協会費を完納していること。
問合せ先	名称	佐賀県クレー射撃協会
同日で元	担当者名	森田 光明

# 33 (一社) 佐賀県空手道連盟

項目	内容		
	① 過去の戦歴を基ににポイントを付ける。 (紙上選考)		
   選考方法	② ①のポイントをベースに、各種大会結果のポイントを加算する。		
医气力压	③ 7月に行われる全九州大会、九州ブロック大会までを加算の対象と		
	する。獲得ポイントがトップの選手が国体の選手となる。		
	ポイント制		
	(紙上選考のポイントをベースに、各種大会の成績を加算する)		
選考基準	紙上選考・・・A指定10P、B指定7P、C指定4P		
	各種大会・・・優勝(10P)、2位(8P)、ベスト4(6P)、		
	ベスト8 (4 P) 、参加点 (2 P)		
	第1次選考会・・・紙上選考(1月)国体出場希望者		
   選考の内容	第2次選考会・・・県大会(4月)		
医ちの内台	第3次選考会・・・県内選考会(5月)少年は県総体含む		
	第4次選考会・・・全九州大会、ブロック大会		

その他		参加者は(一社)佐賀県空手道連盟の会員であること。
	77世	また、当該年度の連盟登録費を完納していること。
問合せ先	名称	(一社)佐賀県空手道連盟
	担当者名	山本 史子

# 34 佐賀県スキー連盟

項	目	内容
選考方法		予選会を実施し、結果を基に練習会や合宿への参加状況等を考慮して常任理事会で決定
25.7.	)	し、理事会に報告する。
選考	基準	同上
選考の	)内容	同上
選考の内容		①当該年度 佐賀県スキー連盟及びSAJ 登録者、または現住所・勤務地が佐賀県内にある者、出身中学・高校所在地が佐賀県内にある者。(高校生は競技者登録も必要とする) ②佐賀県内の中学校または高等学校に在籍する生徒であり、転校後6ヵ月以上経過している者。(ただし、一家転住による転校に関しては除外する) ③上記①②の2点において該当し、かつ県予選及び各全国大会出場に関し保護者の同意が得られている者。(中学生・高校生)
問合せ先	名称	佐賀県スキー連盟事務局
	担当者名	立川 栄

# 35 佐賀県アーチェリー協会

項目内容		内容
選考方法 国体予選会及び選手選抜委員会にて選考する		国体予選会及び選手選抜委員会にて選考する
湿土	基準	原則国体予選の結果を基に総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期
世 一	<b>季</b> 午	待できる選手を選考
選考の	の内容	各予選会の大会結果を総合的に判断
20	ЛHI	参加者は佐賀県アーチェリー協会の会員であること。
その他		また、当該年度の協会登録費を完納していること。
問合せ先	名称	佐賀県アーチェリー協会
	担当者名	岩田 健佑

# 36-1 佐賀県カヌー協会(スラローム・ワイルドウォーター)

項目	内容
	一次選考:男女10名程度を強化選手として、強化部より指名
選考方法	最終選考:鹿児島特別国体選手(鹿児島特別国体九州ブロック出場選手)6名を佐賀県カ
	ヌー協会より指名
	強化練習、前年度の各大会の内容を基に選考した者の中から、大分県豊後大野市で4月中
選考基準	旬に開催される大野川スプリングカップカヌースラローム・ワイルドウォーター大会を佐
	賀県予選と位置づけ、九州ブロックで上位を期待できる選手を選考。

選考の内容	一次選考:強化練習、前年度の各大会の内容を基に選考
	最終選考:4月中旬に大分県豊後大野市で開催される大野川スプリングカップカヌースラ
	ローム・ワイルドウォーター大会の成績を基に選考する。
	参加者は佐賀県カヌー協会の会員であること。また、当該年度の協会登録費を完納してい
   その他	ること。
الله الله الله الله الله الله الله الله	ふるさと選手に関しては、他県協会会員であっても佐賀県選手として国体に出場すること
	を認める。

# 36-2 佐賀県カヌー協会(スプリント)

項目	内容
選考方法	一次選考:男女20程度を強化選手として、強化部より指名
	最終選考:鹿児島国体選手(九州ブロック出場選手)17名を佐賀県カヌー協会より指名
選考基準	強化練習合宿、高校総体、全日本、全日本Jr、海外選考会等、総合的に勘案し、九州ブ
医 5 至 午	ロックで上位を期待できる選手を選考。
	一次選考:強化練習合宿、各大会の内容を基に選考
選考の内容	最終選考:3月~6月初旬までの期間(少年は九州総体結果までを基に最終選考、成年は
	当該年度の県総体までの期間、県選考会、各大会を基に最終選考)で選考する。
	参加者は佐賀県カヌー協会の会員であること。また、当該年度の協会登録費を完納してい
その他	ること。
100	ふるさと選手に関しては、他県協会会員であっても佐賀県選手として国体に出場すること
	を認める。
問合せ先	佐賀県カヌー協会事務局(神埼市役所福祉課内)
	名 事務局長 島 憲一

# 37 佐賀県ボウリング連盟

項目	内容
	一次選考:連盟主催の選考会(年3回:1回当り12ゲーム消化)を実施し、各種別ごとに種別定
	数に1.5割増人数を候補選手として選考委員会が指名
電老十十	二次選考:各種別の正選手定数と2名以内の補欠選手を選考委員会が指名
選考方法	最終選考:当該年度の本国体及び九州ブロック大会への出場正選手を佐賀県ボウリング連
	盟の選考委員会が正選手及び補欠選手かを審議し、最終的に委員長が決定して指名
	選考の基準としては、上記の選考方法において選考した選手を県内強化練習及び県外大会
選考基準	での特別に強化を図る事とし、この強化練習に積極的に参加し競技力の向上の意欲ある選
	手で、本国体への出場権獲得できる選手を選考する。

		一次選考:当該年度において連盟主催により、公認競技場(県内3ケ所)で各1回の選考会を
)33 t/ 0.		実施する。1回当り12ゲームを消化し、計36ゲームの総合成績にて候補選手を決定する。
		二次選考:一次選考で指名した選手を強化練習会及び九州連合会主催大会の選手権大会へ
		強制参加させて更に選手の競技力を確認する。
選考の	り内谷	最終選考:正選手及び補欠選手の決定後は、中央競技団体主催する西日本選手権大会へ強
		制的に参加させ、また、県内強化練習会へ積極参加を条件付ける事としてさらなる強化を
		図る。
		(公財)全日本ボウリング協会及び佐賀県ボウリング連盟の当該年度の会員登録者であり、
	o /II.	当該年度の選考会へ参加申込をして選考会へ参加した選手が資格を得る。(一次選考会へ
7.0		参加していない選手は資格はないものとしている) 但し、その種別の定数に足りない場
その	ク他	合は、選考委員会にて協議のうえ決定する。
		※強化指定選手も例外とはしていない。
		※当競技団体独自の国体選手選考規程を定めている。
問合せ先	名称	佐賀県ボウリング連盟
	担当者名	廣川 陽三

# 38 佐賀県なぎなた連盟

項	目	内容
		一次選考:(少年女子)佐賀県高等学校総合体育大会
		(成年女子)参加希望選手によるリーグ戦
湿夫	方法	二次選考:(少年女子)一次予選ベスト4、各高監督推薦2名までで佐賀県なぎなた連盟
医气	刀压	が承認した選手によるリーグ戦
		(成年女子)参加希望選手によるリーグ戦
		最終選考:一次予選と二次予選の結果をもとに選考
		強化練習、予選会の成績等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を
選考	基準	期待できる選手を選考
		予選は試合競技のみであるため、演技競技を加味する場合がある
		一次選考:5月末参加者の中から選考する
選考の内容		二次選考:6月末参加者の中から選考する
		最終選考:予選の結果を重視しする
その他		参加者は佐賀県なぎなた連盟の会員であること。
70)	שויכט	また、当該年度の連盟登録費を完納していること。
問合せ先	名称	佐賀県なぎなた連盟
刊日せん	担当者名	山本 智子

# 39 佐賀県アイスホッケー連盟

項目	内容
	①候補選手選定:8月下旬開催の定期役員会(理事会)で監督1名、選手25名(ふるさと
	選手を含む)を前年度監督の助言で選定・承認。
   選考方法	②九州ブロ大会選手選定:9月下旬開催の県大会で選手の動きを確認後、監督が選手20
世 医名刀压 	名、予備登録5名を選定・登録。
	③冬季国体選手選定:12月中旬開催の臨時役員会(理事会)で監督1名、選手16名を選
	定・承認。
選考基準	ふるさと選手を含めた社会人・学生合同の強化練習、県大会等、総合的に勘案し、選手を
世 医	選考。
	①9月上旬開催の定期役員会(理事会)で監督1名、選手25名(ふるさと選手を含む)を前
	年度監督の助言で選定・承認。
   選考の内容	②9月下旬開催の県大会で選手の動きを確認後、監督が選手20名、予備登録5名を選定・
医行列的 -	登録。
	③12月中旬開催の臨時役員会(理事会)で本国体(冬季国体)の監督1名、選手16名を選
	定・承認。
その他	参加者は日本アイスホッケー連盟への当該年度の登録を完了していること。
名詞	佐賀県アイスホッケー連盟
	者名 渕上 栄

# 40 佐賀県ゴルフ協会

項	目	内容
選考方法		成年男子:5月4日若木GCで選考会開催、現在50名のエントリーあり午前中18Hで上位12名を午後18Hの36Hストロークにて上位3名を代表選手と選考する。併せて上位6名を来年佐賀国スポ強化選手と選考する。女子:5月13日14日武雄嬉野CC二日間で36Hストロークにて上位3名を代表選手と選考する。併せて上位6名を佐賀国スポ強化選手と選考する。
選考基準		国体要項、佐賀県ゴルフ協会行動基準に基つき、ゴルフ規則並びに追加ローカルールを満たして、成績を確定した選手上位3名とする。
選考の内容		成年男子:5月4日36Hストローク女子:5月13日14日36Hストローク
その他		申し込みは、県内ゴルフ場を通じて、佐賀県ゴルフ協会に〆切までに申し込みを済ませた者。
問合せ先	名称	佐賀県ゴルフ協会
		江頭 正次郎

# 41 佐賀県トライアスロン協会

項	目	内容
選考方法		国体参加資格を満たしており国体出場の意志がある選手は、選考大会締め切りまでにエン
		トリーし、同時に「国体・佐賀県代表出場希望」申請フォームを記入し、事前に佐賀県ト
		ライアスロン協会に申請を行う。
湿 耂	基準	1. 当該年7月31日時点で、ジャパンランキング35位以上の選手
<b>四</b> 四 四 四 四 四 四 四 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	<b>季</b> 年	2. 当該年九州ブロック選手権で、佐賀県内上位選手
選夫(	カ内容	上記選考で出場選手枠に満たない場合は、佐賀県強化指定選手・JTU認定記録会を参考
選考の内容		に、佐賀県トライアスロン協会 強化委員会で審議し決定する。
その他		佐賀県代表選考大会までに当該年度JTU会員登録の手続きが完了している者
問合せ先	名称	佐賀県トライアスロン協会
	担当者名	強化委員長 柿塚 晋也